

○第2回研修会（オンライン開催）

○令和5年度日本語指導教育研究会総会（書面開催）

今年度も昨年度に引き続き、書面での開催となりました。決議を行うための説明を各担当の先生方からいただきました。前年度（令和4年度）の事業報告に続き、今年度（令和5年度）の事業計画案（研究主題案、年間計画案、予算案）、そして規約の改正案について詳しく報告・提案いただきました。今年度の研究会の運営を担当の係の先生方だけでなく、会員全員で協力して、より良い会にしていきたいと気持ちを新たにすることができました。

○本研修：小中別研修

【小学校部】グループ別研修

- ・年間の研修の進め方について説明
- ・グループでの話し合い

【中学校部】

- ・進路実績報告及び現状分析報告
- ・課題解決の研究 グループセッション

小学校部と中学校部に分かれて研修を行いました。小学部は「A:文字指導の研究」と「B:ICTを活用した指導」の研究グループで城浜小学校と春吉小学校に分かれて、対面での研修を行いました。研究の方向性について各グループ話し合うことができました。

中学部は、城香中学校で、全員集合して、対面での研修を行いました。「進路実績報告及び現状分析と課題」について吉田憲太郎先生（城香中）から報告と提案をしていただきました。重点課題2題を決定し、2つのグループに分かれて目標設定と具体的な対策を協議しました。最後に各グループの協議内容を全体で共有しました。年度の初めに進路について話すことができ、有意義な時間となりました。

感想

- 具体的な方針を決めることができ良かった。また、顧問の先生からもアドバイスをいただくことができ、今後の研修の進め方について見通しをもつことができた。
- 久しぶりに対面での充実した研修になりました。他の先生からのアイデアをたくさんいただきました。
- 今年度の研究について、焦点化できてよかった。子ども達の学力向上につなげられるように努力していきたい。
- 集まったグループ内で子どもの実態や実践の状況が直接話せて大変参考になりました。
- 久しぶりに対面での充実した研修になりました。他の先生からのアイデアをたくさんいただきました。
- 中学校の課題、情報共有に集中できてよかった。
- 小中別に実践を積み上げていき、共有できるというのは、大変良い取り組みだと思いました。実際にお会いして相談できるのがよかったと思います。小中別対面での研修が増えると良いと思います。
- 進路実績の報告と分析をして頂いて、感じていたことが数字として明らかになった。現在の課題はしっかりと揃えた上で生徒たちの持つ力をいかして進路実績につながるような指導をこれから3年間で考えていきたい。